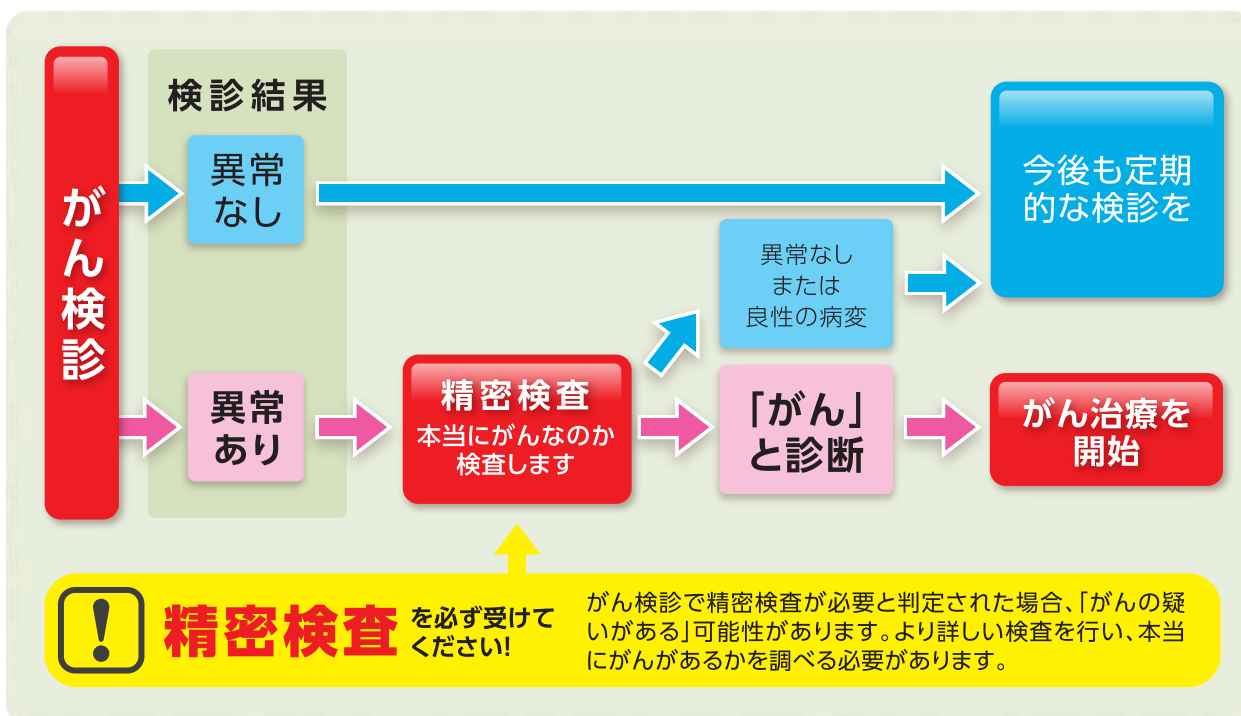


がん検診の流れ

※すでに自覚症状のある方や定期的に治療している人は、
検診ではなく医療機関で診療を受けてください。



がん検診で精密検査が必要と判定されました。
精密検査は本当に必要ですか？

「症状がない」「健康だから」といった理由で精密検査を受けないと、がんを放置してしまう可能性があります。検診で精密検査と判定されたら、それぞれの検診の種類に合わせた方法で精密検査を受けてください。



精密検査はどこの病院で
受けることができますか？

三重県がん検診精密検査医療機関登録制度

検索

<http://www.pref.mie.lg.jp/KENKOT/HP/000118956.htm>

三重県
ホーム
ページ



三重県がん検診精密検査医療機関登録制度

三重県では、市町が実施しているがん検診(胃、肺、大腸、子宮、乳)について「がん検診精密検査医療機関登録制度」を設けています。これはがん検診を受診した結果、精密検査が必要とされた方が医療機関を選択しやすいよう、一定の基準を満たす医療機関を登録するものです。医療機関からの申請に基づき、一定の基準を満たす医療機関を県が登録するものであり、掲載の医療機関のみが精密検査実施医療機関ではありません。

がんについての
情報・相談窓口

36ページ

健康診査の流れ

健診を受けた後も大切です

健康診査を受ける

結果を受け取る

検査結果を
確認しましょう。

- 個々の検査値を見ましょう。検査結果(血液検査や尿検査・血圧など)は前回と比較して、数値はどうでしたか?
- 生活習慣病は自覚症状が出にくいです。健診結果から自分の身体を知りましょう。

- 特定健康診査の人には…
メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)のリスクに応じてレベル分けします。
特定保健指導対象の判定方法は下記のとおりです。
※ 亀山市国民健康保険加入者の対象の方には個人通知します

検査結果を
活かしましょう。

再検査が必要となった方は
受診しましょう

数値の変化を
生活改善に繋げ
ましょう

特定保健指導を
受けましょう

動機付け
支援

積極的
支援

翌年も健診を受けましょう

メタボリック シンドローム(内臓脂肪症候群)とは

内臓脂肪型肥満に加えて、高血糖、高血圧、脂質異常のうちいずれか2つ以上を、あわせもった状態のことです。

生活習慣病は自覚症状がないまま進行しますので、年に1度、健康診査を受診し、体の状態や変化を確認することが大切です。

「特定保健指導」は、特定健康診査の結果に応じて、専門家(保健師・管理栄養士等)から受けられる、メタボリックシンドロームの予防・改善のためのアドバイスや支援のことです。

特定保健指導の対象者は

STEP1

(内臓脂肪蓄積のリスク判定)

① 腹囲
(おへそまわり)

男性:85cm以上
女性:90cm以上



② BMI25以上
(体格指数)

STEP2

(追加リスクを判定)

- ① 血糖 空腹時血糖100mg/dℓ以上又はHbA1c(NGSP値)5.6%以上
- ② 血圧 収縮期(最高)血圧130mmHg以上又は拡張期(最低)血圧85mmHg以上
- ③ 脂質 空腹時中性脂肪150mg/dℓ以上、(やむを得ない場合は随時中性脂肪175mg/dℓ以上)又はHDLコレステロール40mg/dℓ未満
- ④ 質問票 喫煙歴あり①~③のリスクが1つ以上の場合にのみカウントする

STEP3

(保健指導のタイプ決定)

STEP1が①の人

STEP2が1つ

STEP2が2つ以上

STEP1が②の人

STEP2が1つまたは2つ

STEP2が3つ以上

動機付け支援

積極的支援

動機付け支援

積極的支援

※ 65~74歳未満の人は積極的支援になった場合でも動機付け支援とします。 ※ 高血圧、糖尿病、脂質異常症で服薬中の場合は対象になりません。
※ ①血糖については、両方測定の場合、空腹時血糖の値が優先されます。